簡易マニュアル

ワイヤレス サウンドバー

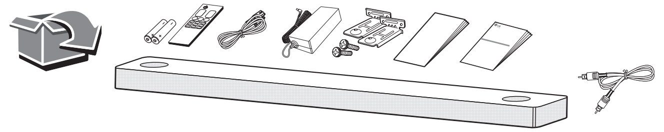
このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。詳細な設定については弊社ウェブサイト(http://www.lg.com/jp)より取扱説明書をダウンロードしてください。
製品仕様または取扱説明書の内容は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

モデル
SN7CY

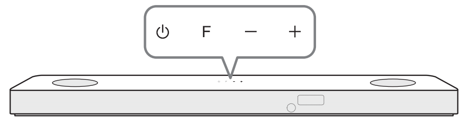
MFL71672233
2004_Rev01

www.lg.com
Copyright © 2020 LG Electronics Inc.
All Rights Reserved.

日本語

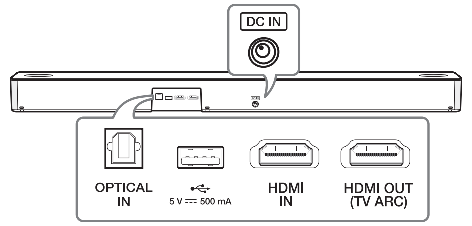


前面パネル



⏻ (スタンバイ) ‥電源オン/オフの切り替えスイッチ。
F (機能) ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 機能を選択する。
ー/＋ （音量）‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 音量を調整する。

背面パネル



DC IN ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ACアダプタを接続します。
OPTICAL IN‥‥‥‥‥‥‥オプティカル(光デジタル)デバイスに接続します。
USBポート‥‥‥‥‥‥‥‥USBデバイスを接続します。
HDMI IN ‥‥‥‥‥‥‥‥‥デバイスのHDMI出力と接続します。
HDMI OUT (TV ARC) ‥テレビに接続します。

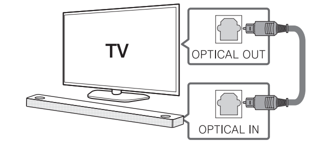
!
- USBの挿入と取り外しの利便性を考慮して、USBジェンダーを別途購入することをお勧めします。(推奨されるUSBジェンダーのタイプ：USB 2.0拡張ケーブル)
- 光ケーブルを適切な位置に合わせて、接続してください。不適切な位置に合わせると、ジャックの損傷を引き起こす恐れがあります。

テレビの接続

オプティカル(Ⓐ) またはHDMI ARC (Ⓑ) を使用してサウンドバーとテレビを接続してください。

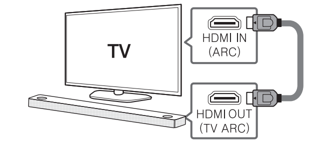
Ⓐ オプティカル接続

❶ 光デジタルケーブルで、サウンドバーをテレビに接続してください。
❷ テレビの外部スピーカーの設定を光デジタルに設定してください。



Ⓑ HDMI (ARC)接続

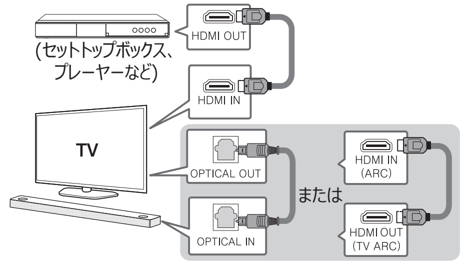
❶ HDMIケーブルでサウンドバーをテレビに接続してください。
❷ テレビの外部スピーカーの設定をHDMI(ARC)に設定してください。



!
- お使いのテレビがHDMI ARCをサポートしていない場合、HDMI接続は使用できません。
- 本機をOPTICALとARCを同時に接続している場合、ARC信号が優先されます。

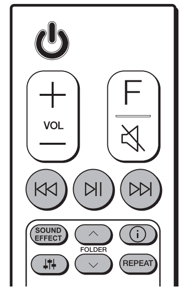
追加のデバイス接続

❶ 以下のように外部デバイスに接続してください。

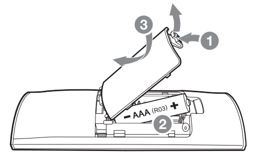


❷ **F**ボタンを複数回押して、入力ソースを選択してください。

リモコン



電池の交換



⏮/⏭：早送り･早戻し/検索
⏯：再生/一時停止
- **Bluetooth接続ロック（BTロック）：F**ボタンを複数回押して**Bluetooth**(BT)を選択してください。Bluetoothの接続をLGテレビ以外できないようにする場合は、⏯ボタンを長押しして、再度⏯を押します。

SOUND EFFECT：サウンド効果モードを選択します。
- **テレビのリモコン：**テレビのリモコンを使うには、**SOUND EFFECT**ボタンを長押しして、もう一度押します。

FOLDER ∧/∨：フォルダを検索します。
ⓘ：ファイル、入力ソース、または接続されている**Bluetooth**デバイス名に関する情報を表示します。
- **自動電源オン/オフ：**ⓘボタンを長押しし、もう一度押します。

：各スピーカーの音量を調整します。
REPEAT：ファイルの繰り返し再生またはランダム再生を切り替えます。

追加情報

仕様

消費電力	メインラベルを参照してください。
ACアダプタ	• モデル：DA-50F25 • 製造者：Asian Power Devices Inc. • 入力 ：100 - 240 V ~ 50 - 60 Hz • 出力：25 V ⎓ 2 A
寸法（幅 x 高さ x 奥行）	約 890.0 mm x 65.0 mm x 119.0 mm（足付き）
重量	3.7 kg
バスパワー（USB）	5 V ⎓ 500 mA
アンプ（合計RMS出力電力）	160 W RMS

外観や仕様は予告なく変更されることがあります。

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan(株)カスタマーセンター

固定電話から (フリーダイヤル) **0120-813-023**
携帯電話･PHS から ナビダイヤル **0570-200-980** (有料)

IP 電話などからフリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用いただけない場合は TEL:03-5675-7323 までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
利用目的の範囲内での当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 ： 9:00 ～ 18:00 (年末年始など当社指定日を除く)

修理に関するご案内

ご使用中、不具合や異常が生じた際は、本説明書に沿ってご確認いただき、なお異常のあるときは、電源をオフにして、コンセントを抜いてから当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。

■ 保証期間中
保証書の規定に従って、当社サービスセンターが修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている時
修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容
・ ご住所､お名前､電話番号
・ 製品名､モデル名､製造番号
・ お買い上げ日､ご購入店名
・ 故障の状況 (できるだけ具体的に)

■ 保証書 (別添) について
ご購入の際は､ご購入の年月日､販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上､大切に保管してください｡製造番号は安全確保上重要なものです｡商品本体の製造番号と保証書記載の製造番号が一致しているかお確かめください。 保証期間は保証書に記載されています。

■ 部品について
本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年間です｡修理のために交換､取り外した部品は当社で引き取らせていただきます｡また､修理の際に当社の品質技術基準に適合した再利用部品を使用することがあります｡あらかじめ､ご了承ください。

■ ご注意
保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は､無料修理させていただきますが､保証書の提示がない場合や､一般家庭外 (たとえば業務用) で使用したことによる故障修理は有料修理となります｡詳しくは保証書記載の [無料修理規定] をご確認ください。
修理技術者以外の人は､絶対に分解したり修理･改造は行わないでください。
発火したり､異常動作によりけがをすることがあります｡(故障時は有料になります｡)

LG Electronics Japan 株式会社
〒104-8301　東京都中央区京橋 2-1-3
京橋トラストタワー 15 階

SN7CY.DJPNLLK_SIM (Sheet)_JPN_MFL71672233.indd 1-4　　2020-06-08 1:47:04

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、 商品を正しく安全にお使いいただき、 また事故や危険を未然に防ぐためのものです。 お使いになる前によくお読みになり、 記載事項を必ずお守りください。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、 人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ **図記号の意味**

禁止 禁止内容 （してはいけないこと） を表しています。

プラグを抜く / ぬれ手禁止 注意内容 （気をつけること） を表しています。

指示 指示内容 （しなければならないこと） を表しています。

⚠ 警告 異常や故障のときは

- 本機を倒したり、 筐体が破損したときはすみやかに電源プラグを抜く。
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに当社カスタマーセンターにご相談ください。

  プラグを抜く
- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。
  - 煙や異臭がする。
  - 画面が映らない、音が出ない。
  - 内部に液体や異物が入った。

  そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐ当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。

  プラグを抜く

⚠ 注意 お手入れについて

- リモコン用の乾電池を正しく使用する。
  指定以外の乾電池は使用しない。
  極性表示[＋]と[－]を間違えない。
  充電・過熱・分解をしたり、ショートさせたりしない。
  表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や使い切った乾電池はリモコンに入れておかない。
  種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
  液漏れや破裂によって、やけどやけがの原因になる恐れがあります。

  指示

⚠ 警告 電源について

- 電源コードを傷つけたり、 加工したり、 無理に曲げたり、 加熱したりしない。
  火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、直ちに当社カスタマーセンターにコードの交換をご依頼ください。

  禁止
- 電源プラグは根元までしっかりと差し込む。
  電源コンセントに差し込んだ電源プラグが外れかけたまま使用された場合、火災や感電の原因となります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。

  指示

⚠ 注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。
  電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。

  禁止
- ぬれた手で電源プラグを抜き差しをしない。
  感電の原因となる場合があります。

  ぬれ手禁止
- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。
  電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。

  禁止
- タコ足配線をしない。
  火災や感電の原因となる場合があります。

  禁止
- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンまたは電源スイッチを切っても、 電源は接続状態になっています。

⚠ 注意 電源について

- 接地 (アース) 接続は、 必ず電源プラグを電源につなぐ前に行う。
  また、 接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行う。

  禁止
- 本製品付属の AC アダプタ以外を使用しないでください。 他の機器などの AC アダプタは絶対に使用しないでください。 異なる電圧や極性の AC アダプタを使用すると故障の原因になります。 付属以外の AC アダプタの使用による故障は保証の対象外になります。

⚠ 警告 設置について

- 屋外や浴室など、 水がかかるおそれのある場所や、 窓際など水滴の発生する場所に置かない。
  火災や感電の原因となります。

  禁止
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
  本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になります。
  また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。

  禁止
- 振動のある場所に置かない。
  振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。

  禁止
- 本機の近くに花びんや水の入った容器などを置かない。
  水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因となります。

  禁止

⚠ 警告 お手入れについて

電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにごみやほこりが付着している場合、乾いた布でふき取る。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
事故、火災防止のため、定期的に電源プラグを点検してください。

指示

⚠ 注意 設置について

- 転倒・落下防止の処置をする。
  地震などによる転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するため、転倒・落下防止の処置をしてください。

  指示
- 温度の高い場所に置かない。
  直射日光のあたる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や故障による火災や感電の原因となる場合があります。

  禁止
- 湿気やほこりの多い場所、 油煙の当たる場所に置かない。
  調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。

  禁止
- 電源プラグが容易に抜き差しできるように設置する。
  本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

  指示
- 通気孔を塞がない。 製造者の指示に従って設置する。
  キャビネットのスロットや開口部は通気のためにあり、製品の正常な作動と、加熱防止のために必要です。製品をベッド、ソファ、敷物などの上に置くことによって開口部を塞ぐことが決してないようにしてください。適切な換気が確保できるか、製造者による指示が貼付されている場合を除き、製品を本箱や棚に組み込んで設置してはいけません。

⚠ 警告 電源について

- 交流 100V 以外の電圧で使用しない。
  火災や感電の原因となります。

  禁止
- 電源コードに重いものを載せない。
  火災や感電の原因となります。

  禁止

⚠ 警告 ご使用について

- 包装に使用しているポリ袋は小さなお子様の手の届くところには置かない。
  かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながる恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

  禁止
- 内部に異物を入れない。
  通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。

  禁止

  修理や改造、分解をしない。
  内部には高電圧の部品が使用されており、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーセンターにご依頼ください。

  禁止
- 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触れない。
  感電の原因となります。

  禁止
- 風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。
  壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。
  仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。

  禁止
- 電池を不適正なものに交換すると、 火災や爆発の恐れがあります。

シンボル

～	交流（AC）を示しています。
⎓	直流（DC）を示しています。
⧈	クラスⅡの機器を示しています。
⏻	スタンバイを示しています。
I	「ON」（電源）を示しています。
ϟ	危険な電圧を示しています。

⚠ 注意 ご使用について

- 本機に寄りかかったり乗ったりしない。
  けがの原因となる場合があります。
  とくに小さなお子様にはご注意ください。

  禁止
- 旅行などで長期間使用しない場合は、 安全のため電源プラグを抜く。
  万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。

  プラグを抜く

モーションリモート用（Bluetooth） 2.4 FH1

この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。

変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10m です。

＜本製品の使用上の注意事項＞

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）について相談して下さい。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、巻末に記載のカスタマーセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意 お手入れについて

- 乾電池を火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。

  指示
- お手入れのときは電源プラグを抜く。
  感電の原因となる場合があります。

  プラグを抜く

本製品はポータブル電源または蓄電池を装備しています。

リモコンの電池が切れたときは

リモコンから乾電池を取り外す際は、取付けの手順を逆に行ってください。乾電池、または電池パックの廃棄は、お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

注意： 本機が水滴やは水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

注意： 製品識別および定格電圧を含む安全表示については、本機の下面にあるメインラベルを参照してください。

また、本機の近くで高電圧機器を使用しないでください。 機器間の電圧の干渉により、本機が故障するおそれがあります。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

この製品に含まれているGPL、LGPL、MPL、その他のオープンソースライセンスのソースコードを取得するには、http://opensource.lge.com を参照してください。

ソースコードの他に全てのライセンス事項、保証の免責事項、著作権表示などをダウンロードできます。

opensource@lge.com宛てに電子メールで要求いただくと、配布に必要なコスト（メディア、出荷、取扱いにかかるコスト）を含む実費にて、LGエレクトロニクスよりCD-ROMでオープンソースコードを提供します。この提供は製品ご購入後3年間有効です。

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE